

# たまには歩こう

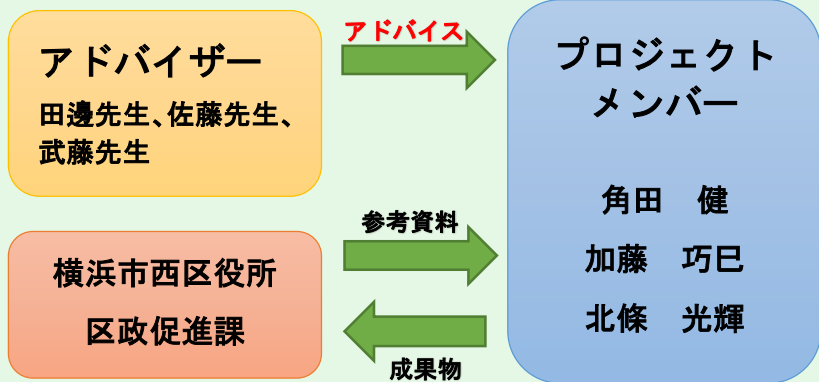
～横浜市西区の粋なまち歩き～

## プロジェクトメンバー

情報科学専門学校

情報処理科 1年 角田 健  
情報処理科 1年 加藤 巧巳  
情報セキュリティ学科 1年 北條 光輝

## プロジェクト体制

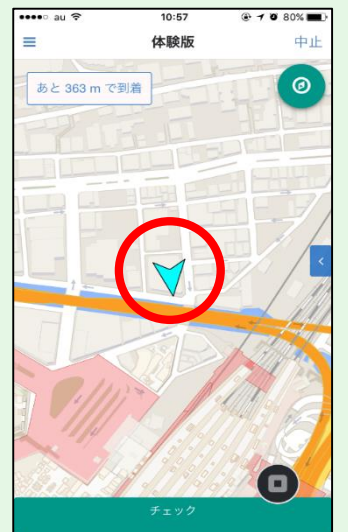


## 概要

本プロジェクトでは、横浜市西区の問題点を解決するために、アイデアソンを2回行い、そこで決定したアイデアをもとにアプリの開発に着手した。更に、同区の魅力をスポットに足を運び、私たちのアイデアが有効であるか確認し、その後、モックおよびPR動画を作成した。その動画を同区の職員に見てもらい、投票結果によって高評価を得たためプロジェクトを本格稼働することになった。なお、作成したアプリは同区協力のもと、一般参加者によるアプリ体験会などを開催し、頂いたフィードバックを反映し繰り返し改善を行っている。アプリ完成後、同区からリリース予定である。

## 工夫点

目的地に向かって方向と距離のみのヒントを基に歩き回る、宝探しのようゲーム感覚で楽しめるのが特徴。目的地までの経路をスマホ任せにするのではなく、ユーザ自ら進みたい道を選び、自由なルートで実際に街並みを眺めながら歩いて新たな発見や出会いにもつながる。それにより、西区内にある店舗を知ってもらう機会を創出することができる。また、リアル宝探し等イベントにも利用ができると考える。



## プロジェクト内容

### [プロジェクト名]

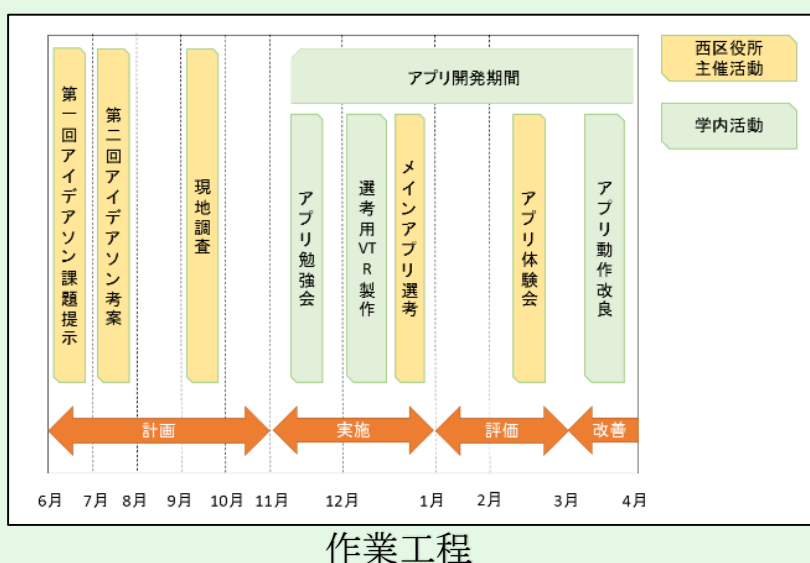
たまには歩こう 西区の粋なまち歩き

### [期間]

H27年6月～H28年3月現在継続中

### [背景]

H27年6月に横浜市西区役所から、同区に訪れる多くの観光客がみなとみらい地区のみに集中してしまっている、という課題があった。この問題を解決するために、みなとみらい地区のみを歩く“王道な”まち歩きではなく、「既成市街地や横浜駅の“粋な”エリアに足を運びたくなる」アプリ作成を依頼された。そこで、私たちは同区の問題点を解決する案を出し合い、同じ志を持ったメンバーで西区の問題点を解決する回遊アプリを作成することに至った。



## 学習効果

### ① 情報収集、プログラミングの能力の上昇

メンバー全員がプログラミング未経験だったためハンズオンの参加、開発環境に関する書籍を購入する等技術力の強化を行った。



### ② 問題への対応力、柔軟性の向上

少人数であるため、一人当たりの作業が多かった。その問題を解決するために、役割の分担を複数回変更することで、お互いの作業をチーム内でカバーした。その結果、主体性や柔軟性の大切さを知ることができた。



### ③ 経験から生まれる自分への自信

制作の先にいる利用者を見据え開発を行い、体験会を開催するなどして、“PDCA”サイクルを回す経験ができた。

